

流通経済大学 vs 東京国際大学

4月20日(日)
11:30K.O.
ひたちなか

「取りあえず勝ててよかった」
と、流経大の中野雄二監督はほっとした表情を浮かべた。どちらかという対戦相手の明大にペースを握られたが、後半31分にゴールを奪って1-0で勝利を収めた。「とにかく負けたくなかった。うちは引き分けでもいいと思って試合に臨んだが、1-0で勝利できて安心して」(中野監督)

2節では順大に3失点を喫して敗れてしまったが、この日は守備が安定。

「ラインが下がることなく、選手の距離もよかった。ラッキーな面もあったが守りきれた」(中野監督)

一方で攻撃面では中盤でなかなかボールを動かすことができず、シュートは4本に終わった。

「東国大は2ラインを作って守備がしっかりとしている。仮に、うちがボゼッションする時間が長くなったときに、オフenseのクオリティーをどう出せて、守備の切り替えをどう出せるかがポイント」(中野監督)

前節の筑波大戦は、勝点3まであとわずかというところだった東国大。後半のアディショナルタイムに失点し、勝点2を失ってしまったものの、ようやく勝点1はゲットしたのだから前向きに考えたい。

「サッカーの怖さをあらためて感じた。ただ、アディショナルタイムで追いつかれたことは収穫でもある。最後の集中力について知ることができた」(前田秀樹監督)

全体の試合内容としても、流れから決定的な場面を作ることができていたし、決して悲観する必要はない。「流経大はフィジカル、スピード面でうちよりもはるかに上なので、その相手との試合でどれだけ通用するかということが大切。個としては歯が立たないが、組織としてどうやって勝てるかを考えたい」(前田監督)

昨年のリーグ戦での対戦はなし

流経大	東国大
2. 湯澤	22. 菅原 29. 新聞
4. 鈴木	
8. 西谷	9. 福島 15. 舛田
25. 古波津	10. 若井
1. 中島 5. 川崎 19. 立花	21. 今野
10. 野口	8. 上船
26. 藤原 7. 森保	4. 加藤 5. 鈴木
6. 富田	7. 小玉 3. 新地

国士舘大学 vs 筑波大学

4月20日(日)
13:50K.O.
ひたちなか

1勝1分のスタートとなった国士大。前節の駒大戦は勝って上位をキープしたいところだったが、2-2のドローに終わった。

「7割ぐらいは相手のペースだった」(細田三二監督)

というように、常に先手を奪われる苦しい戦いだった。ただ、その中で負けない強さを持っているのも確か。「負けずに一つでも勝点を積み重ねることができたのはよかった。リードされてもいい時間帯に追いつけた」(細田監督)

一方で、ここから優勝争いに加わっていくためには、しっかりと勝ちきらなければいけない。

「セカンドボールが拾えなかった。相手に優位にゲームを進められてしまった。一つのポイントで相手に優位に立たれても、次の場面でそれを挽回できるような狙いを持たない」(細田監督)

3試合を終わって勝点2と苦しんでいる筑波大。前節の東国大戦も、後半のアディショナルタイムに同点ゴールを奪ってようやく勝点1をゲット。土壇場で追いつく精神的強さを見せたとはいえ、

「課題はたくさんある。一つひとつクリアしていかなければならない。攻撃のところではなかなかチャンスを作る

ことができなかった。チーム全体というより、1対1の局面で相手にボールを奪われていたので、個々の力のランクを上げていく努力をしなければならない」(中山雅雄監督)

後半は自分たちのサッカーを取り戻してボールを保持し、シュートまで持ち込んだが、前半は1本のみと苦しんだ。もっとアグレッシブなプレーを見せたい。

「連戦はどこのチームも同じこと。自分たちのやるべきことを普段の練習の中から出していだけ」(中山監督)

昨年の対戦：前期/国士大2-1筑波大、後期/国士大1-1筑波大

国士大	筑波大
12. 藤崎 9. 片山	34. 浅岡
13. 端 11. 平松	10. 中野嘉 5. 西村
8. 松本	6. 片岡
30. 大谷	28. 北川 31. 三宅 30. 有賀
6. 海野	14. 吉田
5. 仲島 16. 木下	7. 車屋
7. 橋 20. 田中	11. 高柳 8. 早川

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2014 第88回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.26-NO.4 Division1



編集：加茂郁実 発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

専大が唯一の3連勝!

水曜日に行われた「JR東日本カップ2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦」第3節。中2、3日で行われたハードなスケジュールの中、各チームがどのような戦いを見せたのか簡単に振り返ってみよう。首位を走る専大だが、桐蔭大を相手に開始2分に先制点を奪うと、10分、20分と着実に加点。後半に入ると桐蔭大も反撃に出て2点を返したものの、専大もゴールラッシュ。5-2で専大が勝利を収め、3連勝を飾った。桐蔭大は3連敗。

連勝同士の対戦となった早大と順大のゲームは、互いに譲らない好ゲーム。何度か決定的なチャンスを作ったのは早大だがゴールにつなげられず、0-0のドローに終わった。

優勝候補同士の対戦となった明大 vs 流経大は、明大が試合を優位に進めながら得点できずにいると、後半巻き返した流経大が31分にゴールを奪い、1-0で勝点3をゲット。2節で復調の兆しを見せた明大だったが、連勝はできなかった。

なかなか波の乗れない筑波大と、連敗スタートとなった東国大の一戦は、両者なかなかゴールを奪えず0-0のまま試合が進み、このまま終了かと思われた後半43分、東国大が先制。試合を決めたかに見えたが、アディショナルタイム3分に筑波大が劇的な同点弾を決めて1-1で終了。東国大は痛い引き分け、筑波大は大きな勝点1を得た。

中大と慶大の一戦は、慶大が前半10分、後半33分にゴールを奪って2-

得点ランキング

山根 視来 (桐蔭大)	3点
前澤 甲気 (専大)	3点
北出 雄星 (専大)	3点
以下2得点6名	

アシストランキング

北出 雄星 (専大)	3アシスト
仲川 輝人 (専大)	3アシスト
望月 大知 (慶大)	2アシスト
以下1アシスト20名	

0とリード。中大も41分に1点を返したが、反撃もここまで。1-2の敗戦を喫し、初勝利はならなかった。慶大は3試合負けなし(2勝1分)と好調をキープ。

国士大と2連敗スタートの駒大のゲームは、一進一退の攻防。前半13分に駒大がゴールを決めれば、35分に国士大が同点弾。後半10分に駒大が再び勝ち越したが、41分に国士大が同点シュートを決め、激しい戦いは2-2のドローに終わった。駒大はようやく勝点1をゲット。

専大が唯一の3連勝。早大、順大、慶大が2勝1分の負けなしで追う。その専大と慶大が今節で対戦。専大が一気に走るのか、慶大がストップをかけるのか、注目の一戦だ。

JR東日本カップ2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	早大	順大	慶大	流経大	国士大	明大	筑波大	中大	東国大	駒大	桐蔭大	試合数	勝数	分數	負數	得点	失点	得失点差	勝点
1	専大		6月15日	5月5日	4月20日	5月2日	5月10日	5月24日	5月17日	4月27日	200	600	502	3	3	0	0	13	2	11	9
2	早大	味フィ西		0△0	5月6日	5月10日	5月18日	5月3日	5月25日	4月19日	200	301	4月26日	3	2	1	0	5	1	4	7
2	順大	フクアリ	0△0		5月10日	301	5月2日	4月27日	200	6月15日	5月24日	5月17日	4月19日	3	2	1	0	5	1	4	7
4	慶大	味フィ西	味フィ西	フクアリ		5月18日	0△0	200	4月27日	201	5月3日	5月24日	6月15日	3	2	1	0	4	1	3	7
5	流経大	江戸陸	たつこ	1●3	たつこ		5月5日	100	6月14日	100	4月20日	4月26日	5月24日	3	2	0	1	3	3	0	6
6	国士大	味フィ西	味スタ西	江戸陸	0△0	たつこ		6月14日	4月20日	5月24日	4月26日	2△2	100	3	1	2	0	3	2	1	5
7	明大	川口	味スタ西	味スタ西	0●2	0●1	味フィ西		5月10日	5月18日	5月6日	4月20日	401	3	1	0	2	4	4	0	3
8	筑波大	たつこ	BMWス	0●2	味スタ西	味フィ西	ひたちなか	味フィ西		0△0	1△1	5月6日	5月2日	3	0	2	1	1	3	-2	2
9	中大	三ツ沢陸上	味フィ西	味フィ西	1●2	0●1	川口	味スタ西	0△0		5月10日	5月2日	5月5日	3	0	1	2	1	3	-2	1
10	東国大	0●2	0●2	千葉東総	BMWス	ひたちなか	多摩	味フィ西	1△1	フクアリ		6月15日	5月17日	3	0	1	2	1	5	-4	1
11	駒大	0●6	1●3	ゼットエー	たつこ	多摩	2△2	味フィ西	駒沢陸上	三ツ沢陸上	古河		5月10日	3	0	1	2	3	11	-8	1
12	桐蔭大	2●5	古河	味フィ西	古河	たつこ	0●1	1●4	三ツ沢陸上	夢の島	たつこ	保土ヶ谷		3	0	0	3	3	10	-7	0

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

戦いの中に、成長がある。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

RECRUIT

順天堂大学 vs 桐蔭横浜大学

4月19日(土)
11:30K.O.
味フィ西

2連勝と絶好のスタートを切った順大。前節は優勝候補・早大と対戦し、勝ち切るまでにはいかなかったが、0-0のドロウに持ち込んだ。

「勝点1が取れてよかった。早大の勢いに負けずに耐えることができた」（吉村雅文監督）

ただ、今後、勝利を追求していくには、やや課題が多い試合となってしまったのも事実。

「もっと前でボールを取れば得点の可能性が出てきたはずだが、取れなかった。相手に押し込まれたときしかボールが取れずに、勝てる要素がなかった」（吉村監督）

守備をベースに戦ってきており、3試合で1失点と十分な手応えがある。桐蔭大戦もまずは守備の部分を徹底し、そこからしっかりとゴールを目指したい。

開始2分、10分、20分と失点を重ね、20分の段階で専大を相手に3点のリードを奪われた桐蔭大。

「早い時間帯に失点したというところを含め、個の力ではかなり厳しい部分があったという印象」（八城修監督）

ただ、後半も失点を重ねたが、2点を奪い返して2-5としたところに今後の可能性を残した。

「後半は2-2だったし、攻撃面でフィニッシュの精度

を上げていけば、通用する部分もあるのではないかと感じた」（八城監督）

3連敗と結果がついてこないだけに、どうしても慎重なプレーになりがちだが、

「少し怖がって下がりが過ぎていた。相手がボールを持っていたとしても、受け身でプレーしていた。自分たちが常に判断を持ってプレーすることが大事」（八城監督）

決して悪いところばかりではないだけに、思い切って自分たちのプレーを表現したい。

昨年の対戦：前期/順大2-3桐蔭大、後期/順大1-2桐蔭大

順大				桐蔭大			
13. 宮本	26. 原田	7. 山根	11. 石堂				
4. 谷奥			4. 古澤				
6. 長谷川涼		12. 金子					
30. 今川	24. 室伏	9. 山岸	10. 坪井	8. 山崎	1. 土井		
	7. 内山			6. 福島			
5. 新井				33. 田中憧			
3. 吉永	23. 新里	35. 岡本	19. 中島				

明治大学 vs 駒澤大学

4月20日(日)
11:30K.O.
味フィ西

明大が苦しんでいる。前節の流経大戦も0-1の敗戦で、3試合を終わって勝点3。昨年同様、前期リーグも苦しむのか……。

前節の流経大戦に関していうと試合内容では勝っていた部分もあったが、そこで勝点を奪いきれない。

「ボールを支配しても、ゲーム内容で勝っていても、得点を取れなければ結果的に勝てない。一つミスで負けてしまうことが勝負だと思う。その甘さがある」（栗田大輔助監督）

2節では攻撃陣が4得点と爆発したが、この日は沈黙。相手にもよるが、試合によって波があるのは心配のタネだろう。

「後半は一人ひとりの距離感とバランスがよくなってきた。前線から守備ができていたと思うし、ボールを奪っていたということはよかった」（栗田助監督）

それだけにもう一歩、ゴールに迫るアグレッシブさがほしかった。

2連敗スタートの駒大。前節の国士大戦は立ち上がりから積極的にプレーし、常に先手を奪う気合を見せたが、守備陣が耐えきれずに2-2の引き分けに終わってしまった。

「残念な部分もあるが、選手たちはよくやったと思う。徹底して小牟田洋佑（4年）の頭を両サイドから狙うスタイルで攻撃ができた。決定的なチャンスを何度か作り出せた。攻撃に関しては、ある程度できた」（秋田浩一監督）

ようやく駒大のカラーが試合で出た格好だが、やはり課題は守備面だ。

「簡単に点を取られすぎ。ボールの出どころに、しっかりと対応できるようにしたい」（秋田監督）

昨年はリーグ戦での対戦はなし

明大				駒大			
6. 高橋	8. 石原	7. 平野	13. 大木				
4. 小出	9. 矢島		3. 川岸				
	17. 小谷		5. 伊藤				
1. 三浦		9. 小牟田	14. 中村	1. 秋山			
	7. 差波		10. 板倉				
3. 山越	18. 苅部		4. 平尾				
2. 室屋	11. 藤本	11. 小牧	16. 柳川				

早稲田大学 vs 中央大学

4月19日(土)
13:50K.O.
味フィ西

「難しい試合だった」

と前節の順大戦後にコメントした、早大・古賀聡監督。相手の徹底した守備の前にゴールが奪えず、0-0のスコアレスドロウに終わってしまった。

「相手の守備が堅かったこともあり、崩し切ることができなかった。守備でも役割が定まらず、ボールや人につられる場面があった。修正して臨みたい」（古賀監督）

順大の徹底したプレーに手を焼いたとはいえ、自分たちの力を発揮しきれなかった。

「中大は攻撃的なチームなので、いかに粘り強くボールを奪い、早い攻撃でゴールに向かうかが大切になる。今回、勝点2を落としたので、次こそは勝点3を奪わなければいけない」（古賀監督）

「何ともいえない。とても残念なゲームだった」前節の慶大戦を1-2で落とした中大だが、白須真介監督はガックリうなだれながら次のように続けた。

「いいところは特にない。課題が多すぎる。守備もバラバラだし、攻撃もゴールまでいけないし、すべてが中途半端。どこがといたら、全部が課題としかいいようがない」（白須監督）

3試合を終わって勝点1。苦しい状況が続いているだ

けに、このあたりで一気に挽回したいところだ。

「慶大戦では悪い部分が全部出てしまったが、やらなければいけないことをやれていない結果だと思う。できること、やってきたことなど、もう一度原点に戻って全員で徹底してやっていく」（白須監督）

ポゼッションはできていた部分があっただけに、積極的にシュートを放つとともに、セットプレーからの失点、カウンターでのピンチといったところを修正したい。

出場停止：小出啓太（中大）

前期の対戦：前期/早大2-1中大、後期/早大2-2中大

早大				中大			
20. 平澤	14. 堀田	26. 翁長	27. 市木				
3. 田中進	15. 上杉	9. 内田	5. 岡崎				
	23. 園田		25. 三島				
1. 松澤			1. 前田				
	6. 近藤洋		4. 渋谷				
2. 奥山	11. 山内	19. 岩淵	12. 渡辺				
22. 新井	7. 近藤貴	11. 古橋	15. 縣				

専修大学 vs 慶應義塾大学

4月20日(日)
13:50K.O.
味フィ西

「結果オーライ。相手が強かったので少し驚いた」（源平貴久監督）

桐蔭大との前節は5-2の大勝を飾った専大だが、内容的には決して手放して喜べる状況ではないと気持ちを引き締める。

「初めて出た選手もいたように、中盤のメンバーが固定できない。相手がボールを回すのがうまく、中盤の選手がボールを取りに行くか、行かないかが中途半端になってしまった」（源平監督）

そんな中でも5点を奪って勝ち切る強さはさすがだが、ボール奪取のところを徹底しないと前節のように失点を喫してしまうことになる。十分な注意が必要だ。

「慶大は昨年の残留争いで勝ち残り、そのままのスタイルでやっている。そのスタイルを考えて対策したい。引かれてしまうと思うから、そこからしっかりとチームで攻撃していく」（源平監督）

「本当に選手たちがよく耐えた。守備をテーマにしたゲーム運びができて、勝点3が取れてよかった」（須田芳正監督）

前節の中大戦で立ち上がり10分に先制点を奪った慶大。全体的には中大がボールを保持する時間が長かった

が、そういった時間帯でしっかりと耐え抜き、その後も加点して中大を振り切った。

「守備がよかった。相手にボールを回されることはわかっていたから、取りどころみんなで共有して守ることができた。一方、ボールを取ったあとにどうやってゴールまで運んでいくかが、ここ3試合での課題」（須田監督）

負けなし（2勝1分）で臨む専大戦。勝てば順位で相手を上回るだけではなく、チームのムードも一気に盛り上がるが……。

昨年の対戦：前期/専大6-1慶大、後期/専大1-0慶大

専大				慶大			
5. 小口	11. 前澤	8. 山浦	3. 溝渕				
6. 河津	36. 私市	15. 宮地	6. 望月				
		25. 小坂					
1. 福島	8. 星野	9. 山川	1. 峯				
		29. 浅間					
3. 萩間	7. 北出	26. 加瀬澤	5. 並木				
2. 北爪	10. 仲川	11. 増田	4. 保田				